

# 富士中だより

八丈町立三根学園富士中学校 令和4年1月25日 第9号

ホームページ <http://www.hachi.jomachi-kyo.ed.jp/fuji-jhs/>

◇ 学校教育目標 ◇  
自ら進んで学ぶ生徒  
人や自然を愛する生徒  
健康でねばり強い生徒

## ～見えないものが見えるようになるには～

校長 野田 博之

令和4年、新しい年を迎えました。本年もよろしく申し上げます。今年の干支は虎です。虎はもともと演（えん）技の演という字が由来で、人前に立つ、成長するという意味があります。ぜひとも富士中の生徒には時流に乗って、成長した自分を人前で表現することにチャレンジして行ってほしいです。とはいえ、年始からオミクロン株の影響で新型コロナウイルス感染者が急増しております。例年より長かった冬休みに生徒たちはリフレッシュできたようですが、今後も油断せずに万全なコロナ対策を励行して教育活動を進めていきます。予想される制限下でもタブレットを活用した情報共有、オンライン授業などで教育活動を継続していきますのでご理解をお願いします。

先日、新聞でお笑い芸人の滝沢秀一さんのインタビューが取り上げられていました。そこで、お笑い芸人でありながら東京都のごみ清掃員として働く彼が仕事を通して見えてきたものについてご紹介します。まず、彼がごみ清掃員の仕事を通して見えたものは普通の住宅地とお金持ちの地域のごみの違いだそうです。高級住宅地の方が圧倒的にごみが少ないそうです。彼はお金持ちってお金でバンバン買ってバンバン捨てるイメージをもっていたのですが全然違ってたと感じています。大金持ちの家エリアになると本当に住んでいるのかというくらいごみが少ないそうです。普通の地域ではよく出る発泡酒やチューハイの缶は少なく、ワインの瓶がちょっと出る程度だそうです。自分の認めたもの以外は買わないような感じを受けたようです。

次に見えるようになったことは社会だそうです。今はやっぱり、作る人、捨てる人の方が偉くて回収しているお前らが処理しろって関係なのかなと思うそうです。これって、ものを作る方も、捨てる方も回収する方も同等じゃないとゆがんだ社会になってしまうと思ったそうです。ごみの3R（リデュース、リユース、リサイクル）って言われますが彼はもう一つのR、リスペクトを加えたいと言っています。尊敬する、敬意を払うという気持ちがあれば、ごみ問題のいろいろなことを解決できるような気がすると言っています。

滝沢さんはごみ清掃員の経験を活かして家でもごみを減らすために工夫をしています。判断基準として、買う時に捨てる時のことまでをイメージしているそうです。歯ブラシなどの日用品でどれを買おうかなって悩んだ時は包装の少ない方になっているようです。洋服は買わないでレンタルするようになったそうです。自分の中でモノを持たない美学が宿ってきたそうです。また、食べ物のごみを見ていると、「俺が買ったものなんだから、別に食べかけて捨てるのが俺の勝手だろう。」という傲慢さみたいなものを感じるようです。自分がお金を出して買ったからどう処理してもいいだろうではなく、みんなでこの地球で生活しているのですから最後まで責任をもつことが大事だと感じたようです。そのため、今ようやく多くの人々がサステナブルな生活に移ろうとし始めています。すなわち、自分たちの生活スタイルを見直すことが大切だということに気付いたと言っています。

昨今、地球環境対策が全世界で実践され、持続可能な開発目標（SDGs）を掲げ、改善に向けて全力を挙げて取り組んでいます。富士中ではさまざまな教科でSDGsの17の目標に関連する学習を行い、実生活で改善できることなどを話し合い、解決策を考えています。この目標は2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193カ国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。17の目標をより具体的に考えるために169のターゲット、232の指標もあります。今回取り上げたごみ問題は目標11の「住み続けられるまちづくりを」と12の「つくる責任 つかう責任」に関連します。私自身、大量に溜まったごみを指定日に忘れずに出しただけで一安心しているようではお金持ちにもなれないばかりか、未来の地球を守るための資源を無駄使いしていることに気付き反省しました。変化の激しい社会の中、今まで身に付けた社会通念も変えていかなければならないと実感しました。大人たちも若者のようにはいきませんが、この予想もしていなかったコロナウイルス感染症対策に適応できていますので、今まで見えなかったものが見えるように変わるチャンスです。当分、人材交流や旅行などの制限は続きます。新年から当たり前だと思っている身近な生活の中を見直し、見えなかったものが見えるようになればと思います。今年もよろしく申し上げます。

## 書き初め展 1月14日～22日

今年も、教室の廊下側掲示板に全校生徒の書き初めを展示しました。島内の中学校教員による審査会の結果、以下（次ページ）の9名が選出されました。（国語科：金丸）

金賞 1年小泉しゅうさん 2年持丸結衣さん 3年平井あささん  
 銀賞 1年大畑 凜 さん・奥山裕羽さん 2年石井伶和さん・村上桜子さん  
 3年尾野結渚 さん・篠原葉月さん

～作品介绍～



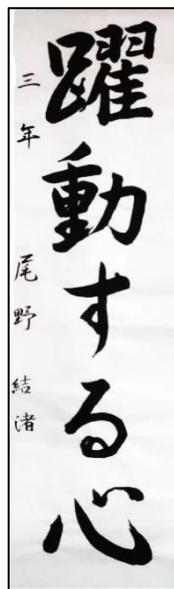
平井 あさ



持丸 結衣



小泉 しゅう



尾野 結渚



篠原 葉月



石井 伶和



村上 桜子



大畑 凜



奥山 裕羽



**表彰** ～国語科・英語科～ 2学期にありました表彰を、作品とともに紹介します。

- ・令和3年度一茶まつり全国小中学生俳句大会 入賞 笠原 風歌さん 「祖母の家 畳の香りと 赤い夕焼け」
- ・令和3年度人権作文コンテスト東京都人権擁護委員連合会会長賞 平井 一舟さん
- ・令和3年度第74回英語学芸大会 【Play】の部 第2位 児玉 怜さん 山下木尊さん

## 2月の主な予定

1日(火) 生徒会朝礼	7日(月) しゃべおじゃ終	19日(土) 土曜授業
しゃべおじゃ始	8日(火) 三校交流会	PTA連合作品展(～20日)
3日(木) (放) 体力向上	10日(木) 新入生保護者説明会	21日(月) 都立入試
4日(金) ⑤研究授業	小学生一日体験	22日(火)～25日(金) 学年末考査
都立一般出願×切	14日(月) 学校朝礼、避難訓練	28日(月) 1、2年復習確認テスト